

生活に役立つインドネシア語【使用人編】

1万3千の島々からなる島嶼国家インドネシアでは、ジャワ島西部のスンダ人はスンダ語、中東部のジャワ人はジャワ語、バリ島はバリ語という風にそれぞれの民族がそれぞれの母語を持ち、日常的に使用しています。地方語と呼ばれるそれらの母語は200以上あり、1番使用人口が多いのは、ジャワ語で全人口の40% (5,900万人)、2番目がスンダ語で約15% (2,200万人) 以下、東スマトラなどのムラユ語 (マレー語) 12%、マドゥーラ語などとなっています。

母語が異なるインドネシア人同士がそれぞれの言語でコミュニケーションを取ることは困難であり、相互のコミュニケーションを可能にする唯一の言語がインドネシア語です。

またインドネシア語は、時間による動詞の語形変化がなく、複数形は単語を繰り返すだけ、文法も比較的シンプルといった特徴があり、単語さえ覚えればある程度コミュニケーションをとることが可能です。

今回はインドネシアに駐在した際に、使うことができる簡単なインドネシア語【使用人編】をご紹介します。

○運転手

トーロン ダタン ジャム

Tolong datang jam ~

～時に来てください。

サヤ ディ シニ ドゥア ジャム

Saya di sini selama 2 jam.

わたしはここに2時間います。(2時間かかります。)

スラム ムヌング トーロン マカン

Selama menunggu tolong makan.

待っている間に食事を済ませておいてください。

トーロン ジュンプット アナック

Tolong jemput anak

子供を迎えに行ってください。

ドゥア ジャム スランジュットニャ トーロン ジュンプット アナック

2 jam selanjutnya tolong jemput anak anak

2時間後に子供もを迎えに行ってください。

トーロン ムレワッティ ジャラン トル

Tolong melewati jalan tol

高速道路を通ってください。

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています（岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託）。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」[利用の手引き](#)をご覧ください。のうえ、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#)（電話 086-226-7365）までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応しておりません。